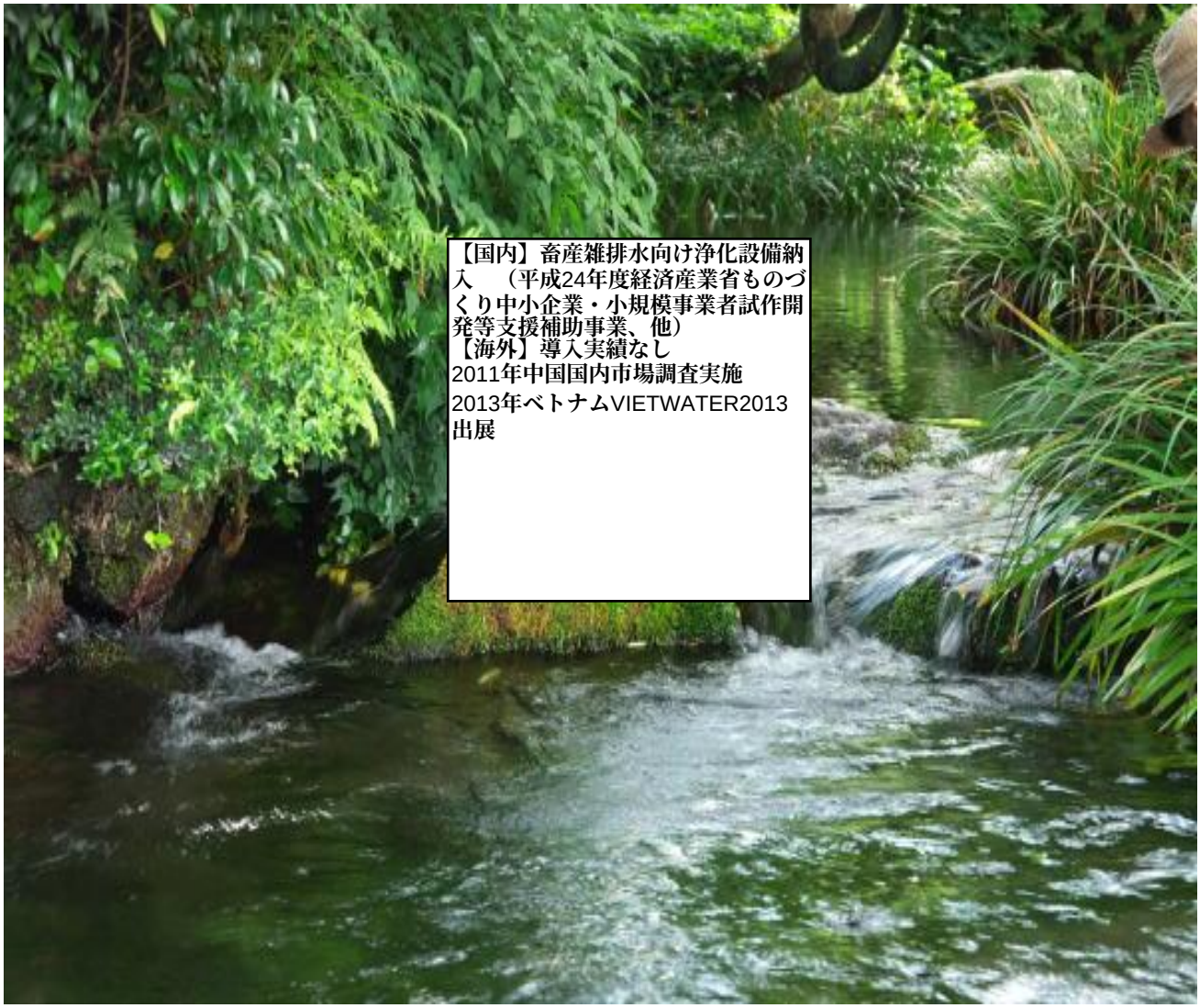
記入日　2020 年　7 月 24 日

会社・団体名	十勝バイオ環境株式会社 英文名：Tokachi Biotechnological Environment, Co., Ltd.			
技術・設備名	汚水浄化技術			
分類		（1）省エネルギー	○	（5）水処理
		（2）新エネルギー		（6）土壌汚染防止・土壌改良
		（3）大気汚染対策		（7）スマートシティ
		（4）循環経済		（8）その他
特徴（PRポイント）	・出来るだけ自然界に存在する物質で急速に浄化する技術　（処理時間通常 3～4 日） ・汚水中の油分も分解し水に返還 ・工事施工期間約 1～1.5 ケ月 ・新技術により浄化速度が速いので小スペースの設備の開発に成功。 ・2010 年国内特許取得。			
具体的な省エネ・環境効果、経済性	多方面より排出される汚水による河川、海洋の汚濁は、社会生活に多大な影響を及ぼしていることは周知の事実である。 我が国においては、都市における生活排水、工業排水は規制と共にかなり浄化が進んでいるが、現地調査をしたところ海外においてはまだまだ設備導入が遅れているのを目の当たりにしている。 今後は　いっそう地球規模で水不足が進んでくることを考えると汚水浄化を含んだ循環型社会の構築が叫ばれる。 弊社は、畜産雑排水の浄化から着手したが他の汚水処理にも十分転用できるシステムである。 特に油分を含んだ汚水浄化に効果がある。			
概要・原理	凝集撹拌固液分離後、酵素分解剤による油脂分分解　BOD　COD　ノルマルヘキサン抽出物質低減、微細気泡による微生物活性化で浄化速度を速める。その後濾過放流。			
実績	【国内】畜産雑排水向け浄化設備納入　（平成 24 年度経済産業省ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助事業、他） 【海外】導入実績なし 2011 年中国国内市場調査実施 2013 年ベトナム VIETWATER2013 出展			

日本での連絡先	担当者名:代表取締役　原　俊雄 TEL:0155-26-2614 E-mail:g100yen@gmail.com 〒080-0801 北海道帯広市東 1 条南 24 丁目 19 番地

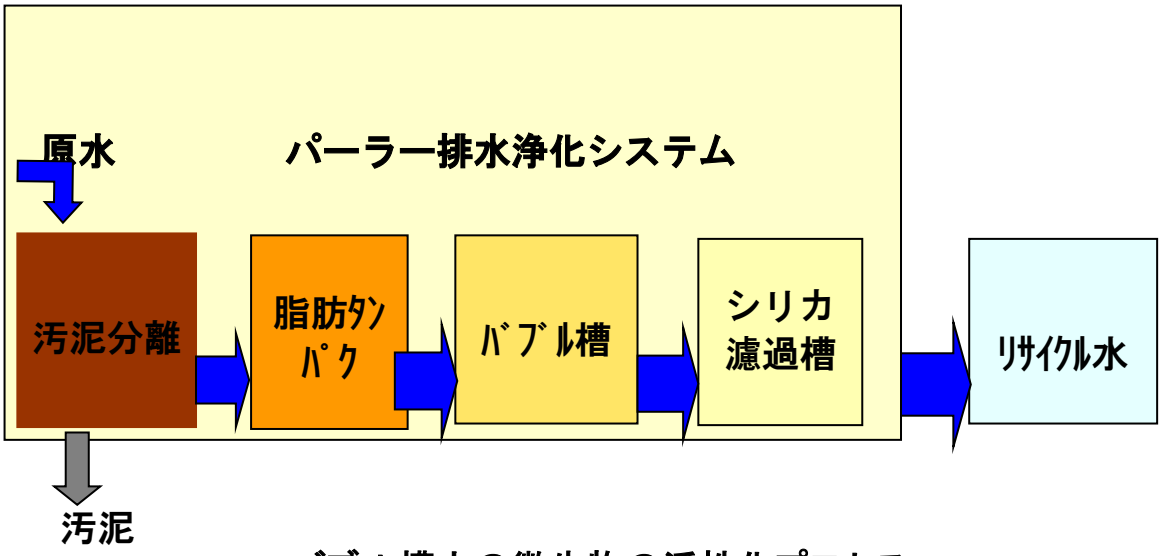
十勝バイオ環境

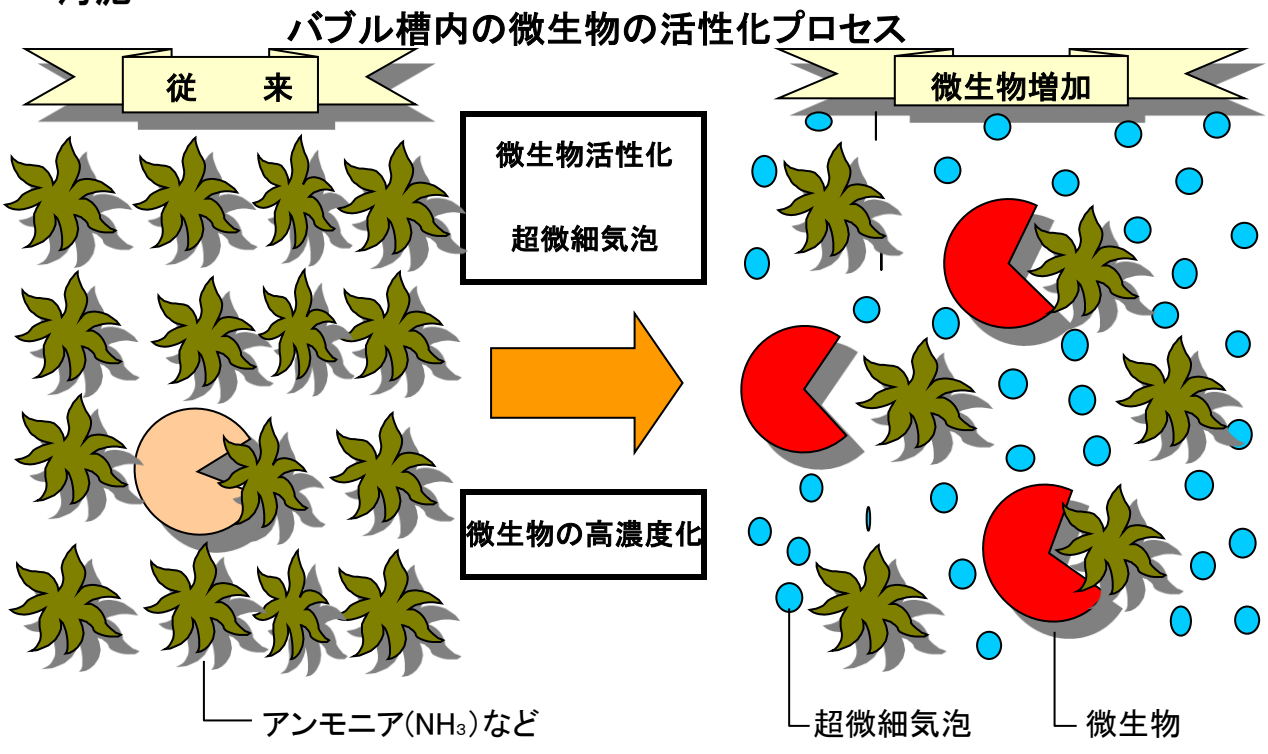
畜産雑排水
クリーンシステム



Natural　Biotechnology

基本フローチャート





ご使用上の注意

・この製品は定期的なメンテナンスが必要です
・ポンプ、ダイヤフラム、ヒーターは消耗品で定期的に交換が必要です

特許取得済

十勝バイオ環境株式会社

北海道帯広市東1条南24丁目19番地
TEL　0155－26－2614
FAX　0155－26－2614
E-mail g100yen@khaki.plala.or.jp

廃棄乳の脂肪・たんぱく質も分解します



廃棄乳を10%

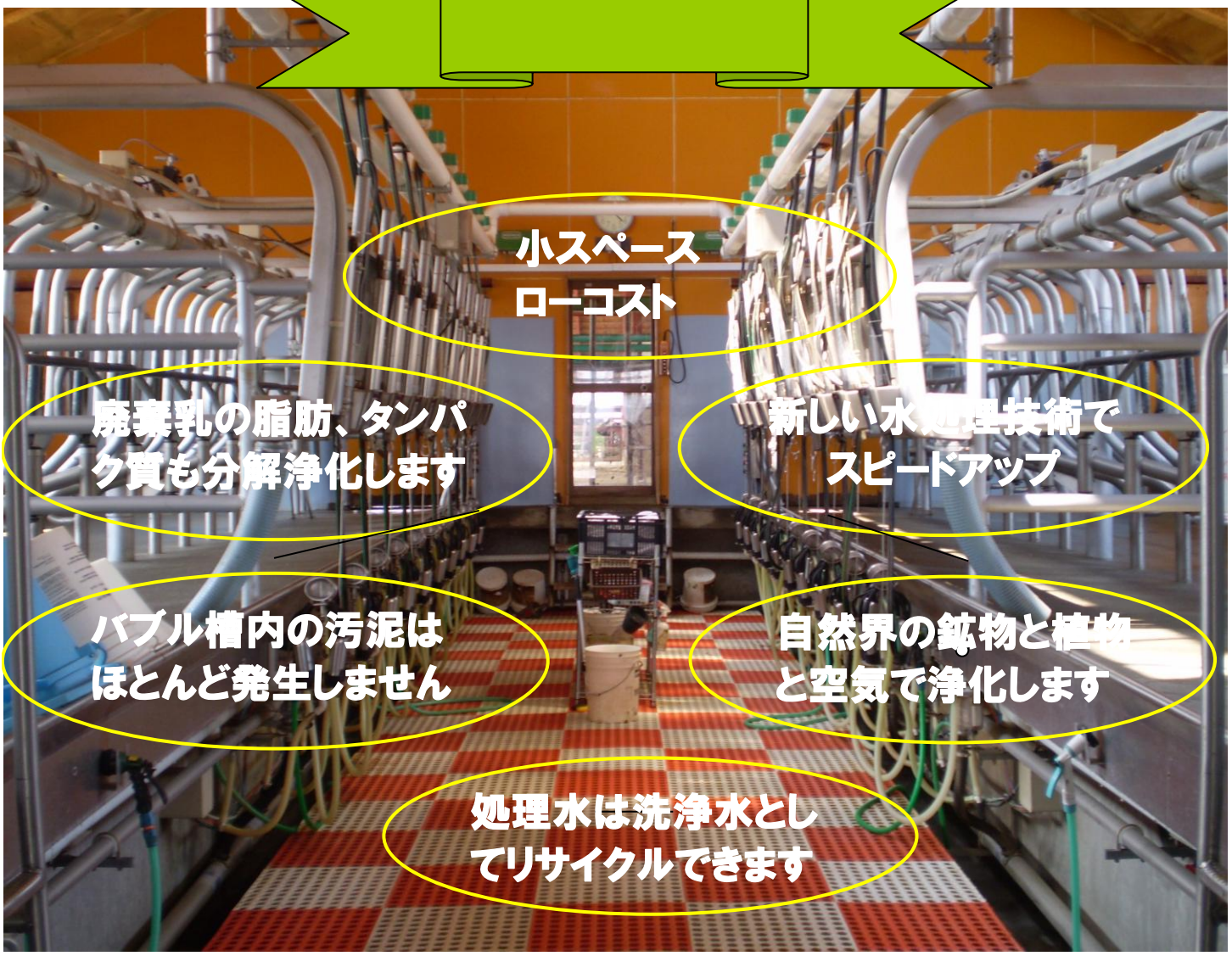


汚泥と上水を

上水を
脂肪・タンパク分解

リサイクル水へ

河川放流



システム外観写真

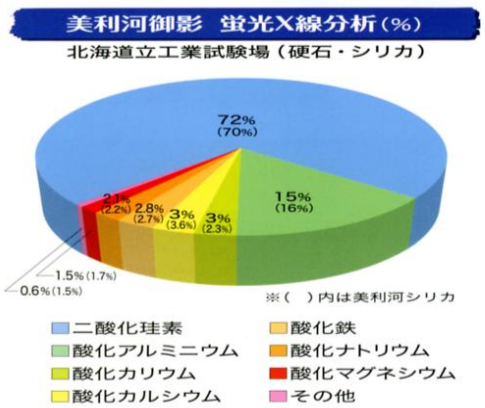


製品番号　**HTT-4000**

外形寸法、外観は、処理容量により変更があります。

音更町内　農場納品写真

ホワイトシリカとは？



（実験処理施設の結果による対比）

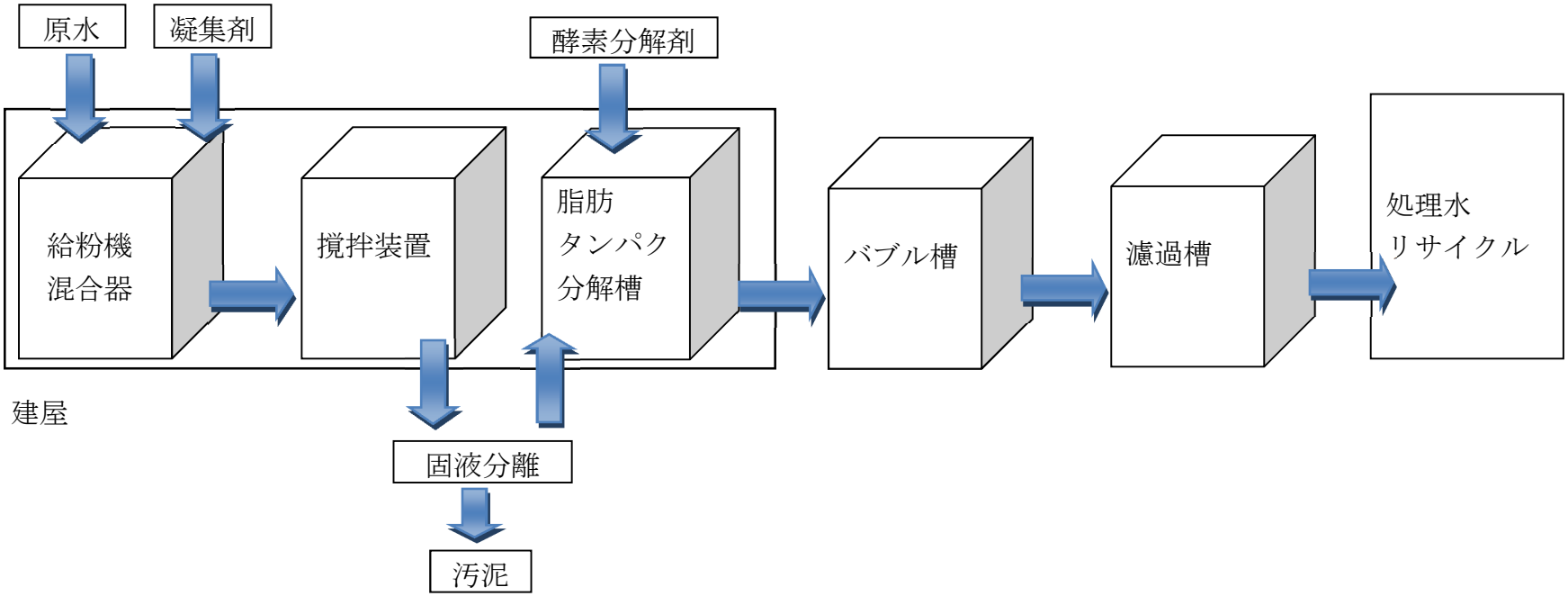


処理前　　**処理後**

汚水浄化システムの説明

・本システムは、日本の新技術微細な気泡を活用した排水処理システムです。
・バッチ式による汚泥分離槽にて無機系の凝集剤を投入して攪拌、汚泥のフロック生成・分離を行います。
・汚泥を分離させた汚水は脂肪タンパク分解槽で植物性の酵素剤とばっ気により乳脂肪タンパク分を分解します。
・その後ばっ気槽で水と空気を高速で混ぜる微細な気泡を使用して微細気泡を水槽の底から送り込むことにより、好気性の微生物が活性化し、有機物の分解を促進して微細気泡が汚泥を捕まえ表面に浮上させます。
・最後にろ過槽で多孔質の鉱石を用いた排水のろ過を行います。
・浄化された水はリサイクル水などに再利用可能なシステムです。

フローチャート図


原水
凝集剤
酵素分解剤
給粉機
混合器
撹拌装置
脂肪
タンパク
分解槽
バブル槽
濾過槽
処理水
リサイクル
建屋
固液分離
汚泥